

日本HPの製品情報をお届けするセールスノウハウマガジン

BP Navigator

business partner

HP LIMITED EDITION



2024 Autumn

特集

モバイル環境でのネットワーク確保、あなたはどうしていますか？
外出先でのワークスタイルを新たな次元へと押し上げる

「HP eSIM Connect」&
「HP Protect and Trace with
Wolf Connect」

Presented by **Otsuka Corporation**

モバイル環境でのネットワーク確保、あなたはどのようにしていますか？

外出先でのワークスタイルを新たな次元へと押し上げる

[HP eSIM Connect]& [HP Protect and Trace with Wolf Connect]

在宅ワークや複数の拠点を行き来するハイブリッドワークを採用する企業が増える中、PC運用においてWi-Fiが無いエリアでのネットワーク確保が課題となるケースが増えている。対応策として様々な方法があるが、どれも課題感があり、試行錯誤を続けている企業も多い。そんな中、対応PCを購入するだけで月額課金などの追加料金なしで携帯電話事業者のデータ通信網を無制限に利用できる画期的なサービスがHPより販売されている。それが「HP eSIM Connect」だ。今回はそのサービス内容と共に、MDMとして注目度が上昇している「HP Protect and Trace with Wolf Connect」についてお話を伺ってきたので紹介しよう。



株式会社 日本HP パーソナルシステムズ事業本部
クライアントビジネス本部 CMIT製品部長 岡 宣明氏

話題のデータ通信5年間 使い放題のサービスの内容とは？

BP:外出先や移動中に参加できるWi-Fiが無い場合、ネットワーク確保には様々な方法がありますが、HPでは画期的なサービスを提供中と伺っています。どのようなサービスなのか教えてください。

岡氏:それは「HP eSIM Connect」ですね。簡単に申し上げると、対応PCを購入するとデータ通信5年間使い放題の権利が付属するサービスです。こちらを利用していただくと、どのような場所でもユーザーはPCを立ち上げた段階でネットワークが確保されている状態になります。みなさんが毎日お使いのスマートフォンと同じような感覚で、PCを活用いただけるサービスになります。

BP:イメージはできるのですが、本当に本体の購入価格だけで済むのでしょうか？

岡氏:そのご質問は本当に多いのですが、データ通信に関して、月額課金などの追加料金は発生しません。

BP:とても魅力的なサービスですが、いつでもつながらずという環境はどのようなケースでメリットがありますか？

岡氏:ハイブリッドワークを採用している企業の方は、スマートフォンのテザリングやWi-Fiルーターなどを使っている場合も多いと思います。それらを取り出し、使えるようにセットするワンアクションの必要がなくなるという事に、最初は衝撃を受けるはずですが、それらのデバイスを持ち歩き、設定や管理をする手間が無いというだけで、ノートPC活用時における利便性という部分で飛躍的に向上していることが体感できると思います。

また、このサービスは名称にもある通り、PCに内蔵されたeSIMを使っています。同じ機能を提供することができるものにはSIMカードがありますが、とても小さなカードを配布し管理するというのは非常に手間がかかります。また、これらは紛失されやすく、ユーザーからそのような報告が来るたびに、再取得の負担が発生することになります。しかし、eSIMの場合そのような心配はなく、正しく使われている限り、安定運用が期待できます。これらのことからいえるのは、デバイスの購入費用や管理負担の点でも大きなコストメリットがあるということです。

BP:なるほど、生産性向上、業務効率化、コストメリットと、「HP eSIM Connect」にす

るだけで、多くの点でメリットがあるんですね。ほかにもメリットはありますか？

岡氏:例えば、先ほどSIMカードのお話をさせていただきましたが、HP eSIM Connect対応モデルにも物理SIMカードを挿せるスロットは存在しています。海外出張の際に、その地域に対応するSIMカードを挿入すれば、デュアルSIMとして活用いただけます。「HP eSIM Connect」はauのデータ通信を利用していますが、そのほかのキャリアのカードと組み合わせることで、大規模障害や災害時にも安定した通信が提供されている方の通信網を使うなど、柔軟性を持たせた運用も可能になります。

BP:魅力が多い「HP eSIM Connect」ですが、対応モデルにはどのようなものがありますか？

岡氏:これまでは「HP Dragonfly G4」などが対応モデルでしたが、ここへきてみなさんが大きく期待されているAI PCにも対応モデルが登場することになりました。フラッグシップモデルの「HP EliteBook 1040 G11」をはじめ、コンバーチブルモデルの「HP EliteBook x360 830 G11」なども対応モデルに加わり、より一層広がりを見せています。

BP:AI PCに対応モデルが広がったことで、メリットはありますか？

岡氏:もちろんです。AI PCはAI処理に特化したNPUを搭載することで、CPU、GPU、NPUのそれぞれの特徴を活かした高効率な演算処理が可能な点と、より低消費電力で動作するというふたつのメリットがあります。

HPもAI機能としてバッテリー運用など、PCのパフォーマンスを最適化する[HP Smart Sense]をAI PCに搭載しているので、バッテリーをより長時間持たせるための支援をおこなっています。

また、セキュリティにおいても脅威を仮想空間に封じ込めるほかNGAVも提供する統合セキュリティツール[HP Wolf Security]が標準で搭載されています。いつでもネットワークにつながることで、脅威にさらされる可能性も広がりますが、十分なセキュリティ機能を提供することでそれ以上の安心感を提供しています。

いずれも外出先で使う際には欠かせないメリットなので、いつでもつながる環境に必須の機能だといえると思います。

外出先にあるPCの盗難・紛失に備える！

BP:もうひとつ、[HP eSIM Connect]と相性が良いサービスがあると伺っていますが、それはどのようなものなのでしょう？

岡氏:それはHPのMDM(Mobile Device Management)[HP Protect and Trace with Wolf Connect]ですね。

こちらは遠隔地にあるPCに対して[探す][PCをロックする][データを消去する]の3つの指令をリモート環境から出すことが可能となるサービスです。例えば、出張中に対象PCが盗難や紛失といったトラブルに巻き込まれても、今どこにあるのかをかなりの精度で調べることができるほか、BIOSレベルのPCロックと、完全消去レベルのデータ消去のふたつの選択肢から最善の命令を出すことができます。

MDMの中にはこれらの機能を提供できる製品はありますが、HPの場合、PCの電源が入っていない状態でもこの3つの命令を出すことができるのが特長です。日本人はPCを使っていないときには電源を落とすという習慣がある方が多いので、そのようなケースでも対応できるというのは大きなメリットになると思います。

BP:すごいですね。なぜそのようなことが実現できるのですか？

岡氏:対応モデルは、ごく微量な電力消費でも常にサーバと通信できる特別なナローバンドを利用するモジュールを搭載しているからです。無線通信を利用したサービスというものもありますが、その場合は日本国内から出てしまうと使えなくなります。

しかし、[HP Protect and Trace with Wolf Connect]の場合、世界100か国でローミングしていますので、海外出張が多い方も対象にできるという点で優位性があります。金融や官公庁、自治体のみなさまなど、機密性が高い業務をされる方々に特に注目いただいているサービスとなっています。

BP:先ほどの[HP eSIM Connect]とも相性がよさそうですね。

岡氏:おっしゃる通り、外出先で快適な通信環境を提供する[HP eSIM Connect]と、セキュリティリスクが高い場所での利用をサポートする[HP Protect and Trace with Wolf Connect]は非常に相性がよい組み合わせです。ハイブリッドワークでコアビジネスをされるような方にとってはどちらも安心できるサービスなので、組み合

わせることでさらに理解しやすいソリューションになると考えます。

BP:[HP eSIM Connect]と[HP Protect and Trace with Wolf Connect]、このふたつの魅力的なサービスはどのような方々におすすめですか？

岡氏:エンタープライズの方々はもちろんですが、SMBでも対応台数が少ないと契約できないということはないので規模を問わず利用いただけるのもメリットだと思います。また、Windows 11マイグレーションの際に、単純にOSを上げるだけでなく、例えばAI PCを選択肢とされる場合には通信環境も一気にバージョンアップして、働き方改革を進めるという考え方もありますし、モダン管理の実現にもかなり貢献できると考えます。

BP:最後に、[HP eSIM Connect]は対応モデルが拡大中ということは分かりましたが、[HP Protect and Trace with Wolf Connect]はどのように申し込みばよいのですか？

岡氏:[HP Protect and Trace with Wolf Connect]に関しても順次お取り扱い可能なモデルを更新中です。こちらも拡大中になりますので、詳細はHPの担当営業にご相談いただければと思います。

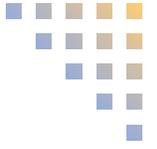
BP:本日はありがとうございました。

HP Protect and Trace with Wolf Connect

電源オフ、通信オフラインの状態でも利用できるMDMソリューション

導入メリット

 <p>資産運用を一括管理</p> <p>ハイブリッドワーク、各種アプリケーションの専用システムなど、さまざまな場所で活用するノートPCの管理を徹底します。</p>	 <p>データセキュリティを強化</p> <p>ノートPCを紛失したり盗難された場合でも、遠隔からデータ消去やロックができることで、不正なアクセスからPCのデータを保護します。</p>	 <p>利益減少のリスクを低減</p> <p>ノートPCの紛失による業務データの紛失や、情報漏洩の可能性からつながるビジネス停止を防ぎ、業務中断・利益減少のリスクを低減します。</p>
 <p>迅速にノートPCを探索</p> <p>ノートPCを紛失したり盗難された場合でも迅速に見つけ出し、業務データの紛失を防ぐことができます。従業員は安全で安心な環境で業務に集中することができます。</p>	 <p>持続可能なデバイスのライフサイクル</p> <p>導入から廃棄、再発行、リサイクルまで一貫したノートPC管理が可能。紛失リスクの低減により、導入から廃棄、リサイクルまでの一貫したノートPC管理が可能となり、より持続可能なデバイスのライフサイクルに貢献します。</p>	 <p>コンプライアンスリスクを低減</p> <p>ノートPCの紛失による業務データの紛失や、情報漏洩の可能性からつながる法的責任や社会的評判の失墜を防ぎ、コンプライアンスリスクを低減します。</p>



新たなAI体験、長時間持続するバッテリー、パフォーマンスの最適なバランスを提供する最新プロセッサ

インテル® Core™ Ultra プロセッサ

インテル® Core™ Ultra プロセッサはCPU、NPU、GPU を単一のパッケージに統合。新しい 3D パフォーマンス・ハイブリッド・アーキテクチャはコラボレーション、生産性、および創造性を強化し、パフォーマンスと電力効率の最適なバランスを提供する。



3年前のPCに比べて
オフィス・アプリケーション
生産性が向上※1

47%

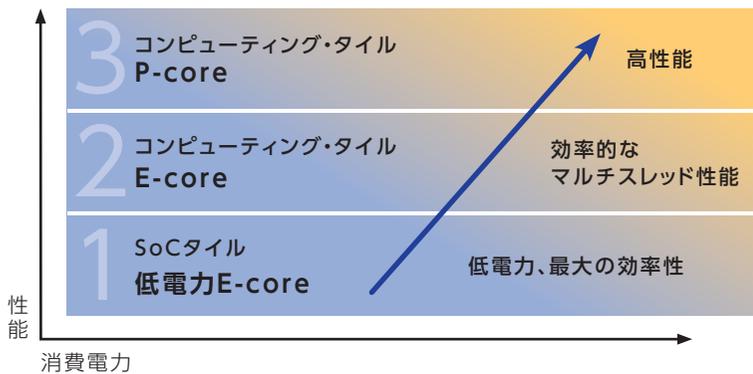
ビデオ会議での
プロセッサ電力消費を
前世代より削減※2

36%

ビデオ編集における
AIパフォーマンス※2

2.2倍

※1 インテル® Core™ Ultra 7 プロセッサ 165H と第11世代インテル® Core™ i7-1185G7 プロセッサの比較
※2 インテル® Core™ Ultra 7 プロセッサ 165U と第13世代インテル® Core™ i7-1365U プロセッサの比較



消費電力を抑える
3D パフォーマンス・ハイブリッド・アーキテクチャ採用

[3Dパフォーマンス・ハイブリッド・アーキテクチャ]では、演算負荷の小さいタスクは低電力E-Coreを搭載するSoCタイルが優先的に起動し、低い消費電力でタスクを処理。更なる電力効率の良いタスク処理が可能となった。

AI処理専用エンジン「NPU (Neural Processing Unit)」

- GPU** パフォーマンスの並列性&スループット
メディア、3D、レンダリング・パイプラインに導入されたAIに最適
- NPU** 専用の低電力AIエンジン
持続的なAI実行とAIのオフロードに最適
- CPU** 高速レスポンス
軽量かつ単一の推論処理を実行
低レイテンシーの AI タスクに最適

インテル® Core™ Ultra プロセッサ搭載
 AI PCラインナップ

モニターサイズ
 13.3 インチ

HP EliteBook 630 / 640 G11

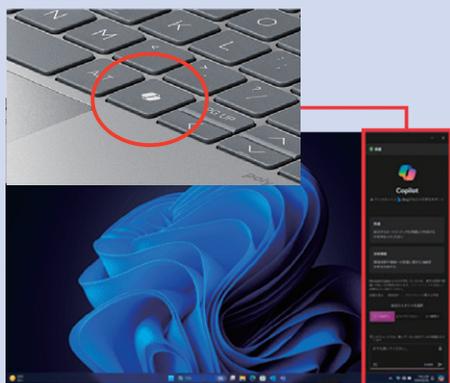
AI による強化
 × 幅広い業務スタイルに適応



HP EliteBook 630/640 G11 の特長

AIアシスタントを ワンタッチで起動

シンプルな操作でCopilot in Windows を体験可能。Windows 11 最新機能の Copilot in Windows は、AI を搭載したインテリジェントなアシスタンスだ。



あると便利な HDMI出力端子や 有線LANポート搭載

薄型ながら、外部モニターやプロジェクターと接続できるHDMI出力端子、あると便利な有線LANポートなどビジネスに必要なインターフェースを標準で搭載している。



過酷な環境でも駆動する確かな品質と堅牢性

HPのビジネスPCは、机からの落下、満員電車の圧力、温度の高低差やホコリ・高湿度の中など、PCを利用するさまざまな環境を想定した厳格なテストをクリアしている。



インテル® vPro® プラットフォームのリモート管理機能で、
 システム障害にも即時対応可能

※一部モデルのみ

リモート管理機能により サポートコストを削減

インテル® vPro® プラットフォームは、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー(インテル® AMT)による強力なリモート管理機能を提供する。この機能により、PCの電源がオフになっている場合や OS が応答しない場合でも、IT 部門はネットワーク上の PC のリモート障害対応、日常の運用管理が可能だ。2024年7月に世界規模で発生したブルースクリーンエラーにもリモートで修復可能なため、ダウンタイムを最小限に抑えることができる。

セキュリティに優れた インテル® vPro® プラットフォーム

インテル® vPro® プラットフォームの一部であるインテル® ハードウェア・シールドは、OS下層のファームウェアへの攻撃対象領域を最小限に抑え、管理者領域の侵害を防止。ハードウェア、BIOS / ファームウェア、ハイパーバイザー、VM(仮想マシン)、OS、アプリそれぞれの層まで掘り下げて防御をおこなうことで、現代の脅威からの保護と防衛を支援してくれる。

インテル® Core™ Ultra プロセッサ搭載 AI PCラインナップ

HP ProBook 460 G11

先進のセキュリティを備えた
16 インチ・大画面スタンダードノートPC



HP ProBook 460 G11 の特長

Poly オーディオ専門チーム、 Poly Studio による オーディオ チューニング

Poly Studioによるオーディオ・チューニングを施したマイクをトップエッジに搭載。Web会議などで音声の録音が必要となる際は、最適な周波数範囲を設定します。Polyは、数十年にわたるオーディオ・チューニングの経験を生かし、高品質のクリアな音声と卓越したサウンドを提供しています。



光の映り込みがなく 表示範囲が広い

映り込みが少ない非光沢ディスプレイを採用。画面占有率が高く、広い表示範囲を実現するスリムベゼル。目の前のコンテンツに集中できることで生産性と効率性を高めます。

■16インチワイド(16:10) WUXGA 液晶ディスプレイ (非光沢パネル、最大解像度 1920×1200ドット、最大輝度 300cd/m²、LEDバックライト)



安心の長時間&高耐久性バッテリー

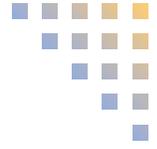
約13時間*の「長時間駆動バッテリー」を搭載。電源が確保できない場所で作業をすることが多い場合でも、安心して作業に集中できます。また、約1000回の充放電サイクルを設計寿命とする「高耐久性」バッテリーを採用。

*MobileMark® 25 測定値。バッテリー駆動時間は動作環境・システム設定により変動します。



第13世代インテル® Core™ プロセッサ搭載。 5年間データ通信無制限 [HP eSIM Connect] 対応モデル登場!

[HP eSIM Connect]対応モデルなら、HPの法人向けノートPC(4G LTE、5Gモデル)にデータ通信上限なしのeSIMサービスを組み合わせることで、日本全国いつでもどこでも働ける環境が実現する。



HP Dragonfly G4

ハイブリッドワークの革新を極める、
13.5 インチ・フラッグシップノート PC

第13世代インテル® Core™ プロセッサ搭載 モバイルPC [HP eSIM Connect] 対応モデル登場

オフィスや自宅、顧客先へとさまざまな場所で活躍するビジネスパーソンが必要とするPCは、バッテリーの長時間駆動、ネットワークのつながりやすさ、強固なセキュリティ、そして軽量なモデルといった厳しい条件が求められる。この全ての条件を満たすのがHP Dragonfly G4だ。

HP Dragonfly G4は、CPUに第13世代インテル® Core™プロセッサを搭載。また、5年間データ通信が上限なしで使い放題のモバイルPC[HP eSIM Connect]対応



モデルが登場。HPの法人向けノートPC(4G LTE、5Gモデル)と[HP eSIM Connect]を組み合わせることで、日本全国いつでもどこでも働ける環境を提供してくれる。

HP eSIM Connect とは?

Point 1

法人様限定!
5年間データ通信上限
なしで使い放題



4G LTE/5G 対応の通信サービスが追加費用なし、データ容量無制限※1、速度制限なし※1が法人限定で利用可能。速度制限や追加コストに悩む必要がなくなり、通信コストの削減が可能となる。

Point 2

Wi-Fi 環境が
なくても安心



モバイルWi-Fiルーターや専用のドングル、テザリングの接続や設定が不要! 速い、広い、日本全国でつながる、au回線を利用するので、移動中や屋外も快適に活用できる。

Point 3

管理・開通プロセスの
工数削減



物理的なSIMカードは不要。紛失、誤配、破損といったトラブルが起こらない。またオンラインで回線の開通手続きが完結。SIMカードの配送を待つ必要がないため、速やかに利用できる。

※1 一定期間内に大量のデータ通信のご利用があった場合、混雑する時間帯の通信速度を制限する場合があります。約款違反や不正利用が発覚した場合、通信の切断を行う場合があります。
テザリング(モバイルホットスポット)の利用は禁止とさせていただきます。
※[HP eSIM Connect]をご利用いただくには法人登記情報が必須となります。

査定不要!

PCリユースプログラム

定額 5,000円で購入します。

PCリユースプログラムは、HPの法人向けPCをご購入いただく際に、不要となる使用済PCを定額で購入させていただくプログラムです。HP製品はもちろん、他社製品も査定不要で購入します。買取後は、国際規格に準拠する方法でデータを消去し、お客様の情報を保護、データを完全に消去したPCは、海外の工場ですべて再生され、リユース(再利用)されます。

法人向けWindows PCの場合



5,000円/台
(税込)をお支払い

買取対象

- ・HPまたは他社製の法人向けWindows PC (ビジネスノートPC、ビジネスデスクトップPC、ワークステーションPC)

対象構成

- ・インテル® Core™ プロセッサ第6世代以降、その他の対象構成についてはお問い合わせください。

その他の対象PCの場合



500円/台
(税込)をお支払い

買取対象

- ・HPまたは他社製の法人向け及び教育向けChromebook(Chrome OS を搭載したPC)
- ・HPまたは他社製の教育向けWindows PC

ご注意事項

- ・キーボード・マウス及び電源ケーブルなどパソコンの動作に必要な付属品も含めた回収が必要となります。
- ・対象世代以降のCPUで、CeleronやAthlonなどの廉価版CPUが搭載された製品は、500円/台となります。

お申し込みの流れ

お申し込み	見積り	請書	回収・検収	支払	紹介料申請	支払
1	2	3	4	5	6	7
PCリユースプログラム売却依頼書(販売パートナー様用)に必要事項を記入の上お申し込みください。	お見積りをお送りします。製品の回収およびデータ消去に係る費用は、日本HPが負担します。	今回のご契約内容、お取引内容に間違いがないかをご確認いただきます。	お客様と回収予定を調整し、日本HPが契約する物流業者が回収に伺います。	検収後、お客様の支払い条件に沿って買取金額をお支払いします。	紹介料支払いのお申込みをいただきます。 ※HP製品の販売がわかるエビデンスをご提出ください。	販売パートナー様の指定口座に買取金額の5%をお支払いします。

PCリユースプログラムの詳細はこちら

<https://jp.ext.hp.com/services/business/renew/reuse/>

